

**Label Printer**  
**TSP828L**

***PageMode Utility Manual***

本書中に登場する会社名や商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

## 目 次

1. インストール・起動方法 .....	1
2. 操作手順 .....	2
2.1 初期画面 .....	2
2.2 Communication Port .....	2
2.3 Command Check .....	3
2.4 General Status .....	7
2.5 Memory Switch .....	7
3. ディップスイッチの設定方法（USB ベンダークラス対応） .....	9
4. 改訂履歴 .....	11

## はじめに

本ユーティリティを使用して、スターページモードコマンド、ASB ステータスの動作確認が可能となります。

プリンタを PageMode で使用するには、ディップスイッチを以下のように設定してください。

ディップスイッチ 1-1=OFF, 1-2=ON

ディップスイッチの設定方法について詳しくは別冊の「製品仕様書」をご参照ください。

## 1. インストール・起動方法

本ユーティリティは、Windows 2000/XP/Vista (32bit)/7(32bit) に対応しています。

お使いいただくためには、事前に本ユーティリティのインストールが必要です。

プリンタに添付されているプリンタドライバ・ユーティリティの CD-ROM をコンピュータにセットしてインストールしてください。

インストール手順は、Printer Driver Manual をご参照ください。

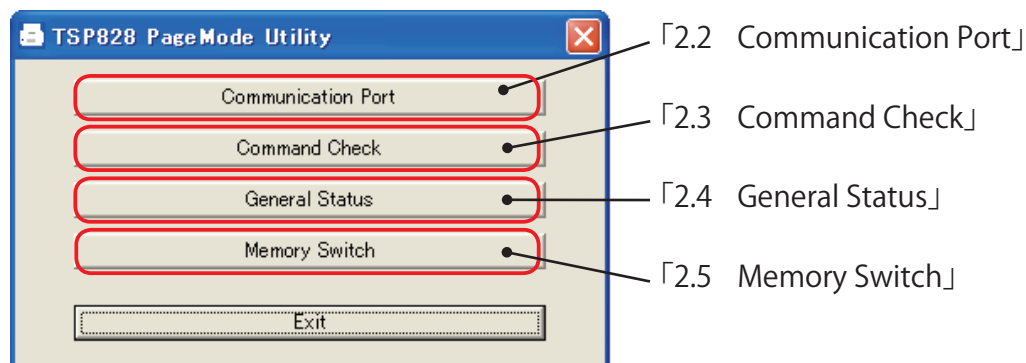
セットアップタイプとして「すべて」を選択してインストールすることで、ページモードユーティリティはプリンタドライバと同時にインストールされます。

本ユーティリティを実行するには、Windows の「スタート」→「すべてのプログラム」→「Star-Micronics」→「TSP828L」→「ユーティリティ」→「ページモードユーティリティ」を選択してください。

## 2. 操作手順

### 2.1 初期画面

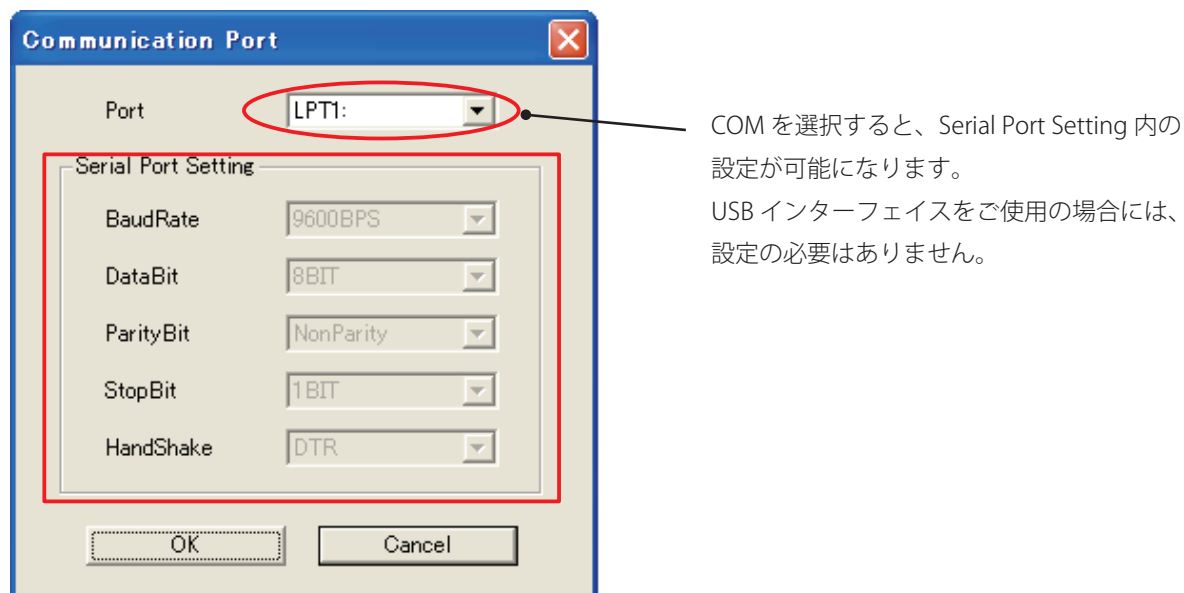
はじめに出力ポートの設定を行うため、[ Communication Port ] をクリックします。



**Point!** [ Command Check ], [ General Status ], [ Memory Switch ] については、必要に応じてクリックし、2.3 以降を参照しながら設定してください。

### 2.2 Communication Port

出力ポートの設定を行います。(デフォルトは「LPT1:」)

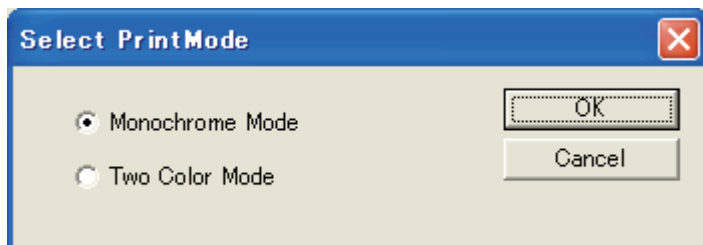


**Point!** 本ユーティリティはパラレルインターフェイス、シリアルインターフェイス、USB インターフェイス（ベンダークラス）に対応しています。  
USB ベンダークラスに対応するためには、ディップスイッチの設定を変更する必要があります。詳しくは「3. ディップスイッチの設定方法（USB ベンダークラス対応）」をご参照ください。

## 2.3 Command Check

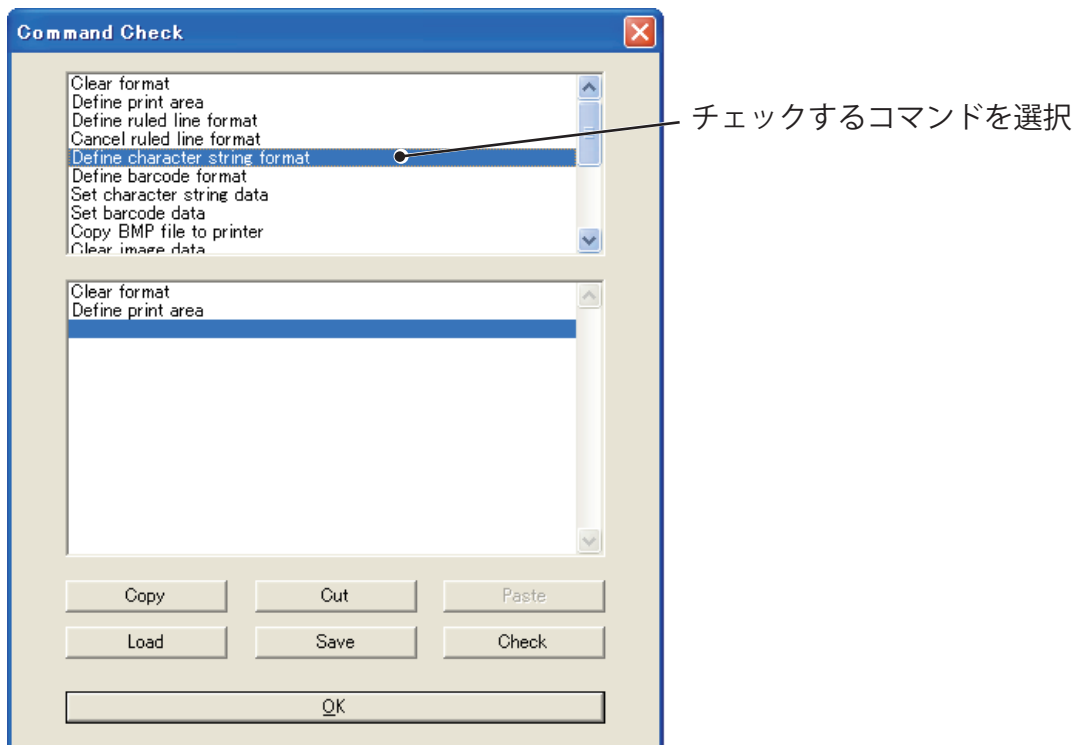
### 2.3.1 Select Print Mode

単色／2色印字の選択をし、[OK] ボタンをクリックします。



### 2.3.2 Command Check

以下のダイアログが開くので、コマンドを設定します。



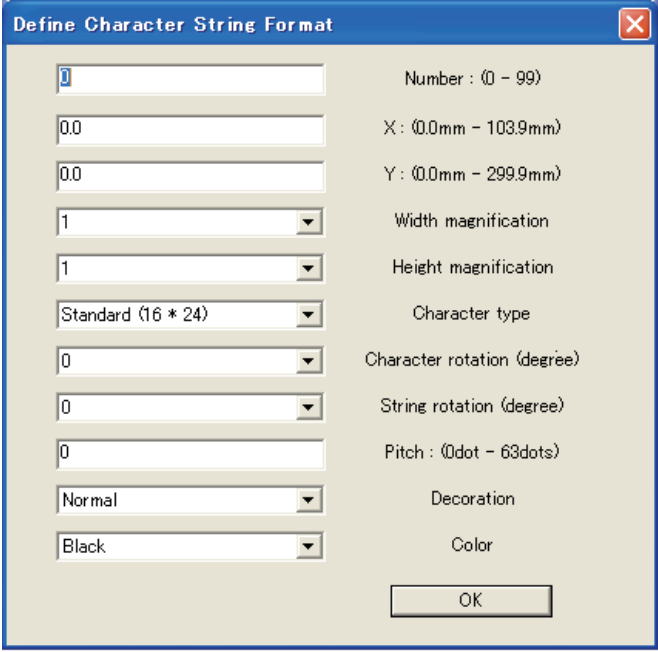
上段のリストボックス内で、設定したいコマンドを選択すると、下段のリストボックスにコマンドが追加されます。

パラメータ設定が必要なコマンドを選択した場合は「2.3.3 Define Character String Format」が開きます。

**Point!** 対応コマンドについては「◆ 対応コマンド一覧」をご参照ください。

### 2.3.3 Define Character String Format

必要なパラメータの設定を行い、[ OK ] をクリックします。



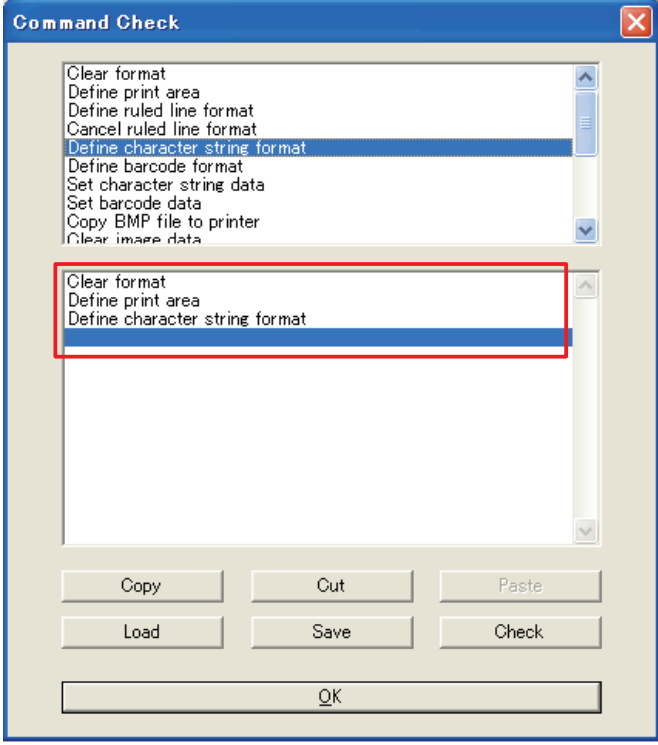
The dialog box titled "Define Character String Format" contains the following settings:

- Number: 0 (Range: 0 - 99)
- X: 0.0 (Range: 0.0mm - 103.9mm)
- Y: 0.0 (Range: 0.0mm - 299.9mm)
- Width magnification: 1
- Height magnification: 1
- Character type: Standard (16 \* 24)
- Character rotation (degree): 0
- String rotation (degree): 0
- Pitch: 0 (Range: 0dot - 63dots)
- Decoration: Normal
- Color: Black

An OK button is located at the bottom right.

### 2.3.4 Command Check

「2.3.3 Define Character String Format」でパラメータを設定すると、設定されたコマンドが下のリストボックスに追加されます。



The dialog box titled "Command Check" displays a list of commands. The following commands are listed:

- Clear format
- Define print area
- Define ruled line format
- Cancel ruled line format
- Define character string format
- Define barcode format
- Set character string data
- Set barcode data
- Copy BMP file to printer
- Clear image data

The "Define character string format" command is highlighted in blue. Below the list, there is a red rectangular box containing the following commands:

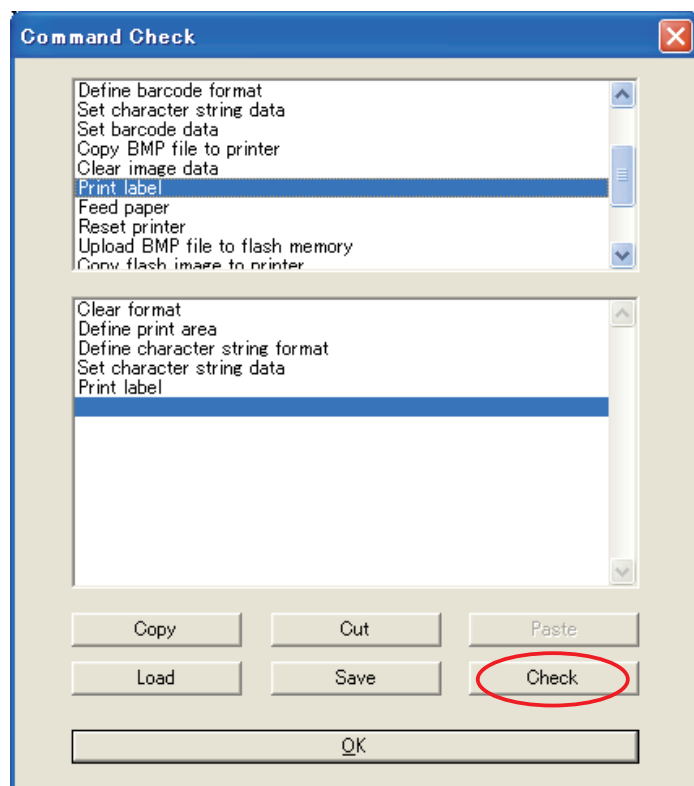
- Clear format
- Define print area
- Define character string format

At the bottom of the dialog, there are buttons for Copy, Cut, Paste, Load, Save, Check, and an OK button.

コマンドをダブルクリックすることでパラメータの再定義が可能になります。

### 2.3.5 Command Check

コマンドの設定が全て完了したら、[Check] をクリックし送信を実行します。



- Point!**
- 1) パソコンに保存する場合は [Save] をクリックします。  
拡張子に ".pmd" としたファイル名をつけ保存します。  
このファイルは [Load] により読み出し可能です。
  - 2) このユーティリティを完全に終了しない限り、ここで設定したコマンドは保持されます。

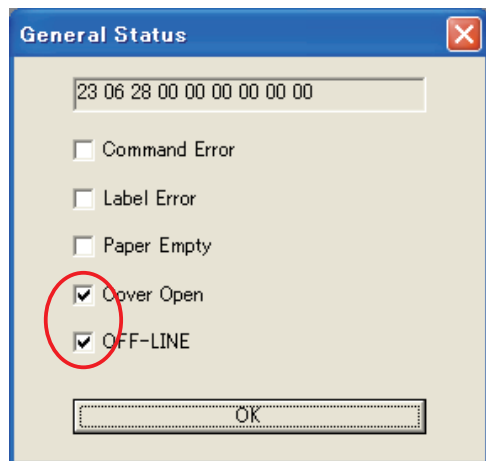


◆ 対応コマンド一覧

区 分	コ マ ン ド		リスト表示
フォーマット設定	ESC C	フォーマットの初期化	Clear Format
	ESC D	印字エリア設定	Define print area
	ESC L	罫線フォーマットの定義	Define ruled line format
	ESC E	罫線フォーマットのクリア	Cancel ruled line format
	ESC P C	文字列フォーマットの定義	Define character string format
	ESC P B	バーコードフォーマットの定義	Define barcode format
	ESC B	カッター (紙送り) の制御	Feed paper
データ設定	ESC X	イメージメモリのクリア	Clear image data
	ESC R C	文字列データの定義	Set character string data
	ESC R B	バーコードデータの定義	Set barcode data
	ESC H	ドットグラフィックデータの定義 (BMP ファイル対応)	Copy BMP file to printer
フラッシュメモリ 登録	ESC w	フラッシュメモリへのフォーマットの登録	Upload format to flash memory
	ESC r	フラッシュメモリからの フォーマットの読み出し	Download format from flash memory
	ESC h	フラッシュメモリへの ドットグラフィックデータの登録 (BMP ファイル対応)	Upload BMP file to flash memory
	ESC k	ドットグラフィックデータの定義	Copy flash image to printer
制御コマンド	ESC I	用紙発行	Print label
	ESC ?	プリンタのリセット	Reset printer
2次元コード	ESC GS x	2次元コード PDF417 の定義	Set PDF417 (2D Barcode)
	ESC GS y	2次元コード QR Code の定義	Set QR Code (2D Barcode)

## 2.4 General Status

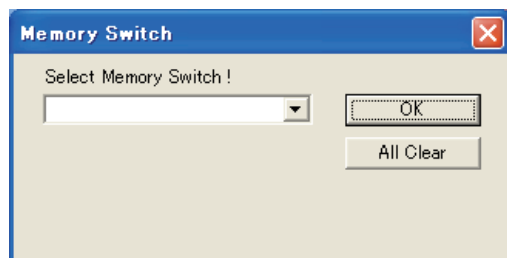
9 バイトの ASB ステータスを取得し、上段に表示します。  
エラーを検出するとチェックボックスにチェックが入ります。



注記：本機能を使用する場合は ASB を有効にしてください。

## 2.5 Memory Switch

以下のダイアログボックスが開く時に < ESC > ? (プリンタのリセットおよび自己印字) が送出されます。  
設定したいメモリスイッチを選択します。



**Point!** [All Clear] をクリックすると、全てのメモリスイッチの値が「0」になります。  
メモリスイッチについて、詳しくは別冊の「製品仕様書」をご参照ください。

### 2.5.1 Edit Memory Switch 0

セット（またはクリア）したいビットをチェックして [ Bit Set ]（または [ Bit Clear ]）をクリックします。



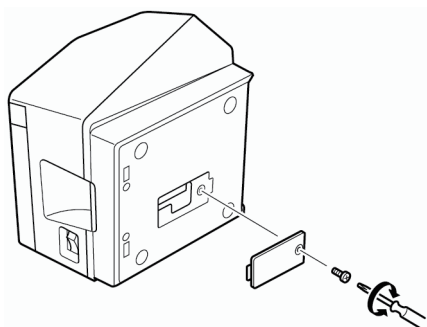
- 1) [ OverWrite ] をクリックしますと、そのまま現在のチェック状態が上書きされます。
- 2) メモリスイッチの操作を行うと以下のコマンドが送信されます。

<ESC><GS>#      (メモリスイッチの設定)  
<ESC> ?          (プリンタのリセットおよび自己印字)

### 3. ディップスイッチの設定方法（USB ベンダークラス対応）

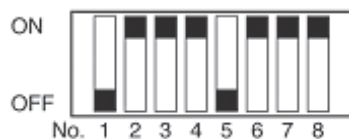
USB ベンダークラスに対応するためには、ディップスイッチの設定を変更する必要があります。  
次の手順で設定を変更してください。

- ① プリンタの電源を OFF にしてください。
- ② ネジを外し、プリンタ底のディップスイッチのフタを外してください。

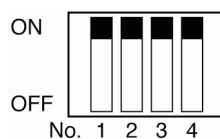


- ③ 先の細いものを使って、ディップスイッチ 1-5 を OFF にしてください。

DIPSW-1



DIPSW-2



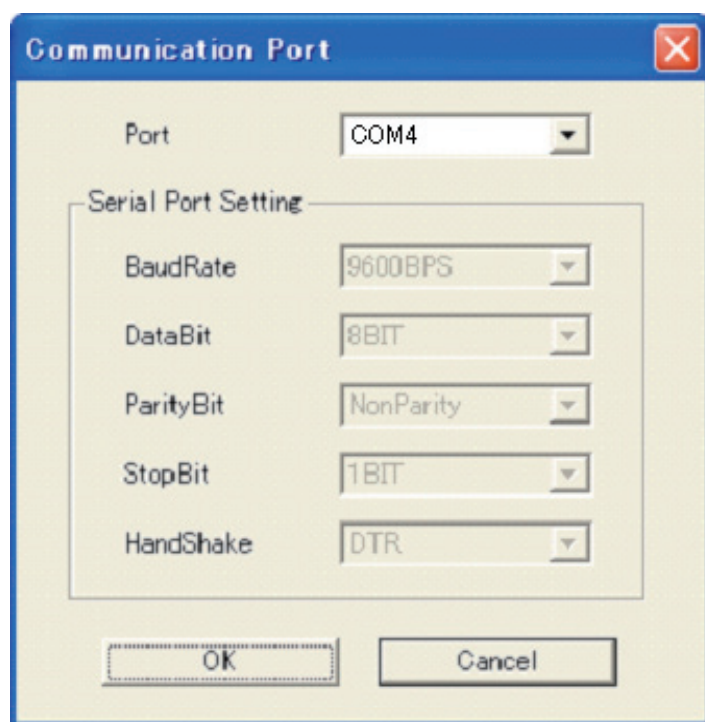
1-1 : OFF ページモードの設定  
1-5 : OFF USB ベンダークラスの設定

**Point!** ディップスイッチについての詳細は、別冊の「製品仕様書」をご参照ください。

- ④ PC が起動していることを確認してください。
- ⑤ プリンタと PC を USB ケーブルで接続してください
- ⑥ プリンタの電源を ON にしてください。

⑦ 出力ポートを選択してください。

USB ベンダクラスをインストールすると、新しい COM ポートが利用可能になります。  
通常、出力ポートは COM4 に割り当てられますが、ご使用の PC によっては COM5 や COMn  
が割り当てられます。割り当てられた出力ポート名（通常 COM4）と下記の Communication  
Port ダイアログの Port パラメータが一致するように出力ポートを選択してください。



#### 4. 改訂履歴

[illegible]



**特機事業部**

〒424-0066

静岡県静岡市清水区七ツ新屋 536

電話：054-347-0112 ( 営業直通 )

<http://www.star-m.jp/dl/dl02.htm>